

### <はじめに>

令和3年5月2日(日)、一麦職員1名が新型コロナウイルス感染症陽性者と確認したのは、瞬く間に利用者の健康変化が顕著に現れました。利用者15名、職員9名の計25名が感染し、うち利用者5名、職員4名が一麦内で療養対応する結果となりました。6月2日までの1カ月間にわたる施設内での感染症との戦いは、法人他施設から6名の応援職員が加わり、寮生さんと職員の相互の協力と団結で隔離生活を乗り越えることが出来ました。

しかし4名の尊い命を失ってしまったことは、目的をもって集団生活を行っている入所施設であるだけに言い訳のできない事態となってしまいました。感染源の施設への持ち込みは、圧倒的に職員である可能性が高く、令和2年度からすでに感染防止対策として職員の私生活にも自粛を要請し、さらに長期間の対応が求められることから令和2年度から創設し対応してきた感染防止手当をさらに継続し、感染防止意識の保持に取り組んでいましたが、一職員の無自覚な行動から、さらに本人が無症状者であったことで事態を増悪させてしまいました。このことは今後の法人運営に生かさなければなりません。

関係機関や旧知の方だけでなく、たくさんの方々より温かい励ましを受けながらの1カ月間でした。多くの方々にお礼を申し上げねばなりません。8月16日、長期入院加療中であった最後のおひとりが、漸く寮の生活に戻ることが出来ました。

9月30日になり、一麦の寮生さんと職員だけで亡くなられた方とのお別れの会として追悼会を行い節目としました。その後は、感染防止対策を強化しながらも運動会、クリスマス会など精一杯楽しみながら日常生活を過ごせるようになりました。

法人としましては、理事長の退任をもって責任の所在を明らかにし、令和4年度に向かいますが、現場では寮生さんの生活活動での取組む内容とその過程で示さなければならないと思っています。

### <本部>

入所施設の運営は大木会の中核事業です。「集団で生活を共にし、育ちあう共育（教育）的活動」という目的があります。とりわけ知的障害を持つ人たちの特性から、学ぶ環境は一定の規模と多様な集団形成が必要です。しかし近年は、個別の支援体系を重要視する傾向が強くなり、集団を否定し、個別の支援体制を強く導いています。

指示・命令・強制のない開放的な人間関係と活動に無限の創意工夫が加わる過程にこそ共育的意義が生まれてきます。「もみじ・あざみ」では、長年取り組んできた活動(仕事)をあらためて見詰め、その活動内容に一人ひとりに向けて創意工夫が施されているのか、寮生さんにとって真に開放的な活動と環境であるのかを問いかけています。結果・成果に振り回されていないか、活動の過程を疎かにしていないか。常に問いただし、振り返ることが継続して求められます。

労務管理では、一麦で発生した新型コロナウイルス感染症対応により、改善事項が確認されました。「非常事態による時間外労働及び休日出勤届」を提出していますが、併せて就業規則の一部改正等々も労働基準監督署より指摘があり整え対応しました。

安定した職員補充が求められるものの新卒者採用が厳しく、中途採用、転職者採用が増えてい

ます。職員確保は、採用職員の育成と職員が成長できる職場の環境づくりが必要です。職員研修会を計3回行うことで全職員（短時間職員含）を対象として、専門職研修とハラスメント防止研修の内容で実施しました。年齢や経験の違いから意識や受け止め方に大きなずれが生じるケースがあります。ベテランこそが、長年の経験から身に着けた自己流の仕事にとどまらない姿勢が必要です。多様な内容の研修も必要ですが、身近で具体的なテーマで継続するの必要を感じます。

人材確保、施設整備（生活環境の保全と向上）は常に必要な事項です。それを支える財政基盤では、改築積立を予算どおりに合計44,500千円を積み立てることが出来ましたが、単年度収支ではマイナスとしています。今年度の一麦での4名の利用者の死亡退所等で法人全体の欠員状況が顕著に現れました。今後は、5か年の入所者補充計画で財政の安定を図れるよう進めなければなりません。

## 1、基本方針と重要事項5項目について

会議、打ち合わせ等の定期開催は緊急時にその成果が発揮されます。一麦でクラスター発生した際の応援体制や給食業務の緊急応援も比較的スムーズに進められたことは、合同で現場及びリーダーの会議（支援部、給食部門）を継続していたことが大きいと思います。今後の課題としては、日常の改善点や問題点が現場スタッフの視点が、十分に検討できる内容と職員の意識を求めていく必要があります。

### 1) 暮らしの質の向上と拡がりに向けて

感染防止対策としてすでに2年にわたり自粛した生活が続いています。帰省や面会を中止し、外部者との交流も全くない状態が続いていますが、平凡な生活の取り組みとその繰り返しから、寮生さんたちの成長と変化を見出し、喜びや楽しみを一緒に作り出す工夫が見られ自粛後の生活にどのような変化と新しい成長がみられることを期待しています。

### 2) 人材確保、育成、定着

近年は、ハローワークや福祉人材センターだけでなく複数の求人機関を活用し取り組んでいます。年度当初に4名の新卒者を生活支援員として迎え、年度中にも3名の職員が加わり、うち1名は採用時期がずれましたが7月に高校卒女子を採用しました。新卒者採用が厳しい状況のなか大変うれしいことです。採用後の課題として人材の育成と定着が重要課題になります。仕事と責任、やりがいと達成感ほどの職種にも負けません。若い職員がしっかりと育ち定着するためには、ベテラン職員の仕事のあり方こそ、意識変革が必要な場面があります。経験年数に関係なく多種・多様な内外の研修会だけでなく他施設の見学もコロナ禍が終結した際にはしっかりと実施できるように整えます。

### 3) 防災・危機（リスク）管理体制の整備に向けて

自然災害や火災を含めた事故等を防ぐ対策とその対策は、消防計画の作成にとどまらず災害対策計画が必要となり順次整備中です。グループホームの所在地が土砂災害警戒区域であることが判明し、避難経路と手順の再整備に向けて作業中です。新型コロナウイルス感染症を含めた感染症拡大防止に向けた対策と対応や万一発生した際の対応手順等については防止対策と共に施設運営（事業）の継続計画の骨子をまとめさらに検討を加えて実際に活用しました。

以上のほか、令和4年度から整備が必須となる施設内における虐待防止対策については、虐待防止委員会の設置と規定の整備に取り組みました。

### 4) 生活（住）環境の保守整備と改善・改修計画

感染症への対応から生活空間への外部者の立ち入り制限を厳重に守っているため、生活棟関係の工事を見合わせ延期変更等しました。あざみでは給湯配管の劣化より浴室洗濯室等の給

湯配管を全面的に改修するなど緊急措置を含めて各施設共に生活環境の保全に務めました。

## 5) 職員研修（研修計画概要）

- ・ 新任職員研修 8/16 田村理事長 12/28 松田一麦施設長 3/14 多田事務局長
- ・ 一般職員研修・ハラスメント防止研修会 10/28、11/25、12/9 計67名受講  
担当：松田一麦施設長、本多もみじ・あざみ副施設長
- ・ GH スタッフ研修 10/4 6名受講 担当：川本管理者、辻（事務局）

## 2、役員会・評議員会関係

〈令和2年度監事監査〉

- 1) 令和3年7月12日（月）10:30～14:20 於大木会事務局

令和2年度理事、法人及び施設の職務執行状況及び財産管理状況、会計状況に関する監査。

〈理事会〉

- 1) 第1回理事会／令和3年8月2日（月）、於一麦会議室

令和2年度事業報告の承認について、令和2年度会計収支決算の承認について、監事監査の報告について、大木会評議員選任・解任委員会の選任（再任）の承認について、大木会評議員選任・解任委員会の招集について、任期満了に伴う時期評議員の候補者確認について、任期満了に伴う次期理事及び監事候補者の確認について、令和3年度第1回定時評議員会の招集について

- 2) 第2回理事会／令和3年8月24日（火）、書面による表決

任期満了に伴う定時評議員会で選任された理事による次期理事長及び業務執行理事の互選について

- 3) 第3回理事会／令和3年12月13日（月）、於一麦多目的ホール

諸規定の一部改正（専決処分）の承認について、令和3年度事業計画（施設整備等）の一部変更の承認について、令和3年度会計収支補正予算案（第一次）の承認について、令和4年度人事の承認について、令和3年度第2回評議員会の招集の承認について

- 4) 第4回理事会／令和3年3月10日（木）、於もみじ・あざみ会議室

令和4年度事業計画案の承認について、令和4年度会計収支予算案の承認について、理事長の退任の承認について、次期理事長および業務執行理事（常務理事）の選任の承認について、次期理事長の報酬、処遇の承認について、現理事長の退任後の処遇の承認について、令和4年度人事体制の承認について、定時評議員会の開催の承認について

〈評議員会〉

- 1) 第1回定時評議員会／令和3年8月24日（月）、於一麦会議室

令和2年度事業報告の承認について、令和2年度会計収支決算の承認について、監事監査の報告について、任期満了に伴う時期理事及び監事の選任について

- 2) 第2回評議員会（決議の省略）／令和3年12月20日（月）

諸規定の一部改正（専決処分）の承認について、令和3年度事業計画の一部変更の承認について、令和3年度会計収支補正予算案（第一次）の承認について、理事の選任及び施設長人事の承認について

- 3) 第3回評議員会／令和4年3月25日（金）於一麦会議室

令和4年度事業計画（案）の承認について、令和4年度会計収支予算（案）の承認について、次期理事長及び業務執行理事の選任報告と次期理事長の報酬・処遇の承認について

### 3、寄付採納について（敬称略）

- ・一麦保護者（40名）（4,800千円） 一麦改築整備費償還金財源として
- ・大木会後援会（900千円） 償還金財源、職員育成事業及び感染症対策費として
- ・（一財）大井伊助積善会（300千円） 一麦福祉車両購入
- ・（株）シガ技研（300千円） 一麦、もみじ、あざみ各施設事業

### 4、長期借入金返済状況

- ・（独）福祉医療機構、（株）滋賀銀行からの施設整備等の長期借入金については下記の表のとおり返済予定額を返済しました。

（令和4年3月31日現在） 単位：円

使 途	借 入 先	期首残高	当期返済額	期末残高	完済年度
建物取得（一麦）	（独）福祉医療機構	18,000,000	4,500,000	13,500,000	2024
建物取得（GH碧天）	（独）福祉医療機構	24,830,000	2,292,000	22,538,000	2032
小 計（1）		42,830,000	6,792,000	36,038,000	
建物取得（一麦職員寮）	（株）滋賀銀行	14,468,000	5,076,000	9,392,000	2023
建物取得（特殊浴室棟増築）	（株）滋賀銀行	15,750,000	3,000,000	12,750,000	2026
内 訳	一 麦	5,250,100	1,000,200	4,249,900	
	もみじ	5,250,100	999,900	4,250,200	
	あざみ	5,249,800	999,900	4,249,900	
小 計（2）		30,218,000	8,076,000	22,142,000	
総 計		73,048,000	14,868,000	58,180,000	

### 5、規則・規程の制定／改廃

- ・大木会職員就業規則の一部改正（R3.12.13 第3回理事会）  
（母性健康管理の措置）第28条 新設
- ・職員給与規定の一部改正（R3.12.13 第3回理事会）  
（業務管理職手当）第25条第2項に時間外及び休日出勤の実態と照合し清算し加えて支給する旨を追記。
- ・介護休業等に関する規程の一部改正（R3.12.13 第3回理事会）  
（介護休業の対象者）第2条第2項第5号 同居・扶養要件を削除  
（介護短時間勤務者）第13条第6項 給与等の減額について育児短時間勤務者と同様の基準とする。

### 6、主な契約・許認可・届出

#### 1) 契約等

- ・「社会福祉法人用役員賠償責任保険」の加入（継続） 保険料 83,000 円  
加入日：令和3年10月1日（期間：1年間）  
被保険者：理事及び監事。評議員を含む。
- ・「しせつの賠償補償」の加入（継続） 保険料 237,640 円（全事業所合計）  
保険期間：令和3年4月1日から1年間

## 2) 許認可

- ・指定障害福祉サービス更新申請 一麦、あざみ、もみじ  
サービス種別 指定障害者支援施設（生活介護、施設入所支援、短期入所）  
指定期間 令和4年4月1日から令和10年3月31日まで

## 3) 届出

- 1) 指定障害福祉サービスに関する報告・届出（全施設・事業所）令和3年4月14日  
実績報告書：各施設・事業所  
体制変更届：もみじ（生活介護 重度障害者支援体制、延長支援体制）
- 2) 指定障害者支援施設における指定事項の変更に伴う届け出（令和4年3月）  
運営規定の変更 虐待防止に対応数体制整備事項（一麦、あざみ、もみじ）  
（令和4年4月1日付）一麦施設長の変更
- 3) 非常災害等に伴う労務関係に係る届出（一麦） 令和3年9月28日  
・非常災害等の理由による労働時間延長・休日出勤届（期間：令和3年5月2日から6月2日まで 当該職員7人）
- 4) 労務関係（労働基準法等） 令和3年3月29日（一麦、もみじ・あざみ）  
第16条第1項関係 時間外労働、休日労働に関する協定届（但し、時間外労働については特別条項を付記 月80時間ただし6回まで 年間720時間）  
第12条の2の2関係 1か月単位の変形労働時間制に関する協定届  
第12条の4第6項関係 1年単位の変形労働時間制に関する協定届  
職員就業規則の変更に伴う届け出（一麦は、令和3年9月28日提出）  
給与規定の変更に伴う届け出（一麦は、令和3年9月28日提出）

## 7、登記関係

### 社会福祉法人変更登記

- 1) 令和3年8月26日 資産総額変更登記  
（令和3年3月31日現在 2,293,976,122円）
- 2) 令和3年9月7日 理事長の変更  
（令和3年8月24日 理事長 重任 田村俊樹）

## 8、主な事項・行事等

感染症防止対策を継続しながらこれまで取り組んできた活動や行事を実施していますが、施設外部者との交流や合同で行う取り組みはすべて中止・自粛の形をとっています。大変残念なことです。しかしこれまで外部者へ向いていた目線や助けられていたであろうたくさんの方がなくなり、自分たちがしっかりとその内容そのものを見つめ問い直す機会になっています。一麦の運動会やもみじ・あざみの文化祭もしっかりと取り組んでいます。外部の方が誰一人としてこない中でもこれまでと同様にしっかりと準備を整え、寮生さんたちの期待にも応えられていたと思います。

帰省や面会もできない状態ですが、定期的にリモート面会されるご家族も少数ですが定着してきました。ご家族の訃報時は臨機に対応していますが、感染症の状況により対応が変わることはやむをえません。

## 9、なんでもお話し しましろう会（大木会福祉サービス苦情解決委員会）

感染症対応の影響で2年間全く開催できていません。第三者委員から、寮生さんたちとのお話会の開催はまだ難しいが、委員会の開催は可能ではないかと申し出を受けています。リモート活用を含めて次年度再開（第1回を7月または8月を予定）します。

## 10、各種研修会実施・参加状況

区分	内容	担当者（主催）等	受講者（対象）	実施時期
初任者研修	新任の育成	田村理事長 松田施設長 多田事務局長	計4名 新任職員 計5名 計7人	8月16日 12月28日 3月14日
一般職員研修	（第1部）専門性とは？  （第2部）ハラスメント防止研修	松田施設長	一般職員 計67人 全職種対象（短時間勤務者含む）	10月28日 20人 11月25日 21人 12月9日 26人
GHスタッフ研修会	大木会の理念「光、かがやく」	辻（川本）	グループホーム	10月4日 計6人
虐待防止	施設内虐待防止  障害者虐待防止マネージャー研修	湖南市 Web 甲賀市 Web 全社協 Web	各施設2名程度 各施設2名程度 総合施設長1名	2月28日 2月10日 1月24日
専門・資格	サービス管理責任者（更新）  強度行動障害者支援者研修（基礎）  （実践）	滋賀県 滋賀県	もみじ（西谷） 一麦3、もみじ1 あざみ1 一麦1、あざみ2	3月 7月、10月、11月 2月

## 11、施設・設備整備状況

	一麦	あざみ	もみじ
補修・保全等	多目的ホール音響設備 機材購入  792,000円	浴室・洗濯室等給湯配管 老朽破損に伴う改修工事 等 3,045,450円  2階非常階段転落止・補強 工事 506,666円 体育館防火網入りガラス 入れ替え 539,137円	居室・浴室建具改修 990,000円 2階非常階段転落止・ 補強工事 1,013,334円 体育館緞帳昇降機 2,772,000円 体育館防火網入りガラ ス入れ替え 898,563円
設備整備等	大型洗濯・乾燥機 3,366,000円	厨房額炊飯器更新 495,000円	男子棟給湯器交換 407,000円
車両新規・更新	軽・福祉車両 2,390,000円		7人乗普通車 2,480,000円

## 12、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種状況（佐野医師：湖南市）

1回目 令和3年7月10日、15日、16日

2回目 令和3年8月7日、12日、13日

3回目 令和4年2月24日、26日、3月3日

## 〈 一 表 〉

### 1、実施事業 障害者支援施設

生活介護	定員 50 名
施設入所支援	定員 50 名
短期入所	定員 2 名(男 1、女 1)
日中一時支援事業	定員なし
緊急一時保護 (甲賀圏域)	
災害時における福祉避難所 (湖南市)	

### 2、利用者の異動

年度初日	定員 50 名	現員 48 名	
年度末日	定員 50 名	現員 44 名	うち 2 名は長期入院 (転籍の予定あり) 死亡による退所者 4 名

### 3、職員の異動

令和 3 年 4 月 1 日現在 新規採用生活支援員 2 名	31 名 施設長 1 (サービス管理責任者兼務) 事務長 1 副施設長 1 (生活支援員兼務) 生活支援員 18 (常勤 16、短時間 2) 嘱託医 1、看護師 1 栄養士 1、調理員 5 (常勤 2、短時間 3) 書記 3
年度中退職 (5 月末日)	
年度中採用 (7/1)	1 名 (調理員 1 名)
令和 4 年 3 月 31 日退職	1 名 (生活支援員 1 名)

### 4、基本方針 (重要事項) の進捗と経過について

#### 1. 健康の保持

(新型コロナウイルス感染症クラスター発生については、前述参照)

2 週間に区切っても全員が健康不安なく無事に過ごすことが大変になってきた皆さんの現状です。さらに年齢とともに体全体の機能が徐々に低下し、ギリギリのラインで日常生活を保ってくれている印象があります。何か些細な変化が生命の維持に直結する場合があります、長期入院または医療機関への全面的移行のケースが生じます。

#### 2. 「共育」の視点と環境を築く

コロナ禍での自粛生活では、施設外で容易に気晴らしや楽しむことが出来ないだけに、満足感や達成感をしっかりと考え、探ることが必然と生じてきます。単に楽しいだけでなく、目的や意図また、取り組んだ過程やその結果から課題や次の目標に気づくことに少しずつ芽生えているように感じます。

#### 3. 生活環境の整備と保守

感染症への対応から生活場面での工事が難しく、居室整備や廊下改修など延期しました。多目的ホール音響設備、福祉車両 (軽自動車)、大型洗濯・乾燥機など新規購入しました。日中活動棟整備計画は継続の検討課題としました。

#### 4. 防災・危機管理

火災、自然災害だけでなく感染症への対応と対策が求められます。感染症がクラスター発生した際には、ガイドラインや対応マニュアルがしっかりと整備できていませんでしたが、日頃気になる点をその都度繋ぎ合わせて備蓄品の整理や業務優先事項など個別に想定していたものをもって対応しました。今後整理しマニュアル化を進めます。

#### 5. 生活の状況

不安と閉塞感が大きくなってきた1カ月にわたる生活だけでなく、大切な友人をなくしてしまったことは、心が晴れることはありませんが、そこから日々の暮らしや取り組みを大切にしなければという思いが職員だけでなく寮生さんたちも感じているように思います。施設全体の行事や各グループで能小さな取り組みもそれぞれに思いを込めて楽しんで取り組んでいます。外出先での活動を自粛していることもあり、食事が関係する行事は皆さん積極的で大切な取り組みです。日常の食事も同様ですが、安全でおいしい食事がしっかりととれる健康と環境に感謝しなければなりません。

#### 6. 医療・受診状況

<受診状況>

受診科	実人数	受診回数
内科	25	243 (3)
外科	5	10
整形外科	10	90
泌尿器科	4	29
精神科	10	74 (8)
耳鼻咽喉科	5	7
眼科	1	4
皮膚科	10	111
婦人科	8	8
歯科	40	357 (24)
訪問マッサージ	3	(179)

<主な検診>

7/29	結核検診
7/6	内科健診（嘱託医）
9/15、9/24	腹部エコー
10/7	歯科検診（口腔センター）
11/10	インフルエンザ予防接種
11/2、9、19、25	婦人科検診（加藤乳腺クリニック）
3/18	成人病健診

<入院> 4人

- ・神崎中央病院 R2.9/23～ 傾眠傾向、経口摂取不良
- ・甲賀病院 5/11～21 肺炎（PFR 検査×4回）
- ・済生会滋賀県病院 2/6～2/28 肺炎及び脱水症状  
済生会守山市民病院 2/28～同上及び栄養不良
- ・生田病院 2/11～（R4.4/21） 肺炎、脱水

( ) は訪問診療

#### 7. 主な行事・活動

- ・追悼会 9月30日 多目的ホール
- ・滋賀日民報（週刊新聞 日曜日）

令和4年1月から、文化欄に一麦ねんど造形活動についての連載始まる

（吉永太市先生 記）

#### 【主な活動】

- 4/1 新人職員着任式・新年度会議、/2 新任職員歓迎会、/6 始業式（クラス編成発表）
- 6/3 感染症の終息を寮生に説明、/27 卓球部練習

7/6 内科検診、/7 七夕祭、/15 ワクチン接種①、/27 プール開き、/28 音楽教室、/29 結核検診  
8/12 コロナワクチン接種②、/27 地藏盆、/31 職員一斉 PCR 検査①  
9/24 音楽教室、/30 亡き4名追悼会  
10/24 第60回運動会、/27 音楽教室、/28 職員研修会①  
11/7 卓球部練習、/12 1日合宿、/23 音楽教室、/25 職員研修会②  
12/5 餅つき、お楽しみ会、/8 内科検診、/9 職員研修会③、/15 還暦祝会、/18 音楽教室、  
/24 クリスマス会  
1/1 新春お楽しみ会、/6 始業式、/9 卓球部練習、/22 音楽教室、/25 古希祝会  
2/3 節分、/13 音楽教室、/14 職員一斉PCR検査②、/16 3学期お楽しみ会、/22 古希祝会、  
/24 ワクチン接種③  
3/3 ひな祭り、/24 お別れ会、/25 修了式、音楽教室

## 7、主な施設整備

- ・大型洗濯乾燥機新規購入 3,366,000円 (京都市) (株) エムズエンジニアリング
- ・福祉車両(軽バンタイプ) 新規購入 2,390,000円 (株) ダイハツ栗東店
- ・多目的ホール音響設備機材購入 792,000円 (株) シガ技研

## 8、保護者会及び家族への通信状況

- 4月15日 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種のお知らせと承諾書の送付
- 5月2日 施設内で新型コロナウイルス感染症陽性者が複数者が確認され7日にはクラスターの状況となる。順次に全家庭に電話にて現状報告を行う。
- 6月24日 家族の会役員会(会長、副会長、監事)を行い、田村理事長、松田施設長からクラスター発生経過と現状を報告し、多数の方が健康被害を受け、4名の方が死亡に至ったことについて謝罪する。
- 7月7日 感染症発生の経過と終息後の生活状況の報告を通信する。
- 12月15日 家庭通信(個別号)の発送
- 3月17日 役員会 令和3年度保護者会総会のまとめ方を協議し、令和2年度一麦保護者会会計監査を実施。
- 3月21日 令和3年度保護者会総会 書面通信での開催を発送。3月27日付で審議。

## 〈もみじ〉

### 1、実施事業

生活介護	定員 50名
施設入所支援	定員 50名
短期入所	定員 4名(男2名、女2名)
日中一時支援事業	
定員なし	(緊急一時保護) 災害時における福祉避難所(湖南省)

### 2、利用者の異動

年度初日	定員 50名	現員 41名
年度中	令和3年6月2日	男子1名 死亡退所(心不全:陳旧性心筋梗塞)
年度末日	定員 50名	現員 40名(男子19名、女子21名)

### 3、職員の異動

令和3年4月1日現在 26名

〔	施設長 1、サービス管理責任者 1
	生活支援員 18(常勤 16、短時間 2)、
	看護師 2(常勤 1、短時間 1)、管理栄養士 1、
	調理員 2、書記 1

令和3年8月31日 退職(調理員 1名)

令和3年10月1日 異動 看護師 1名(常勤) 一麦へ配属異動

令和3年12月1日 採用(調理員 1名)

### 4、重点事項の振り返り

(1) それぞれの生活課題に対して「ひとりひとりを大切にした支援」

感染対策の暮らしの中でみんなが、いつもと変わらず健康で日常生活が送れることが大切です。支え合って生活できることの幸せを実感できる場面も日常生活の中で感じることが出来る場面があります。年齢や能力、生活経験の違いは、それぞれに希望や要望が異なります。それぞれの違いを認め、そこから個別の目標、全体の目標につなげ取り組みました。

(2) 健康管理と医療機関との連携

職員、寮生さんを含めた施設全体で感染・拡大防止対策継続の日々です。検温、手洗い、消毒・・・みんなが意識を持って毎日実行し継続しています。

高齢になり、日々の健康保持が難しい寮生さんが増えてきました。日常的に主治医のサポートにつなげる事が求められます。

(3) 施設整備と改修

- ・体育館緞帳等巻上設備更新
- ・生活棟 2階非常階段改修及び転落防止工事
- ・公用車(8人乗) 1台更新購入 2,480,000円

## 〈あざみ〉

### 1、実施事業

生活介護	定員 30名	
施設入所支援	定員 30名	
短期入所	定員 2名	
日中一時支援事業	定員なし	(緊急一時保護)
災害時における福祉避難所(湖南省)		

### 2、利用者の異動

年度初日	定員 30名	現員 24名 (うち1名は措置による入所者、但し5月1日から契約利用に移行)
年度中	12月4日	1名死亡退所(急性大動脈解離)
年度末日	定員 30名	現員 23名

### 3、職員の異動

令和3年4月1日現在	19名	〔施設長1名、サービス管理責任者1名 生活支援員 11(常勤6、短時間5) 看護師2(短時間)、栄養士1、調理員2、書記1〕
令和3年7月1日	1名(生活支援員)採用	
令和4年3月31日	2名(生活支援員1名、看護師:短時間1名)退職	

### 4、重点事項の振り返り

#### (1) それぞれの生活課題に対して「ひとりひとりを大切にした支援」

感染対策の暮らしの中でみんなが、いつもと変わらず健康で日常生活が送れることが大切です。支え合って生活できることの幸せを実感できる場面も日常生活の中で感じることが出来る場面があります。年齢や能力、生活経験の違いは、それぞれに希望や要望が異なります。それぞれの違いを認め、そこから個別の目標、全体の目標につなげ取り組みました。

#### (2) 健康管理と医療機関との連携

職員、寮生さんを含めた施設全体で感染・拡大防止対策継続の日々です。検温、手洗い、消毒・・・みんなが意識を持って毎日実行し継続しています。

高齢になり、日々の健康保持が難しい寮生さんが増えてきました。日常的に主治医のサポートにつなげる事が求められます。

#### (3) 施設整備と改修

- ・生活棟2階非常階段改修及び転落防止工事

## もみじ・あざみ共通参考資料

### 1、利用者の生活状況と取り組みについて

新型コロナウイルス感染症対策を中心とした暮らしを継続し2年となります。変異を繰り返すウイルスの勢いは、しばらくの間は終息の気配もなく心配な状況です。みなさんの暮らしも長期にわたる経験から慣れてきた様子もうかがえます。時には不満や不安が生活リズムの変調などに現れることもあります。今、自分たちが出来ることをしっかりやり遂げる姿は、自分の暮らしに対しての誇りを持ち、楽しみを見つけ、そこからさらに広がり自信となって守ってくれているように感じ取れます。

昨年度に引き続き、行事や外出もできる範囲で実施してきました。いろいろとアイデアを出し合い、感染防止対策をとりながら、運動会、地蔵盆、文化祭、クリスマス会など行ってきました。月々のお楽しみ会や催し物は、利用医者からの希望も取り入れ、手作りの楽しい企画も生まれました。

### 2、健康管理から見る身体と暮らしの変化

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、行動の自粛、職員のマスク着用。手指消毒及び共用個所や備品の消毒、定期的な室内換気の実施など安心して暮らせる環境の維持に務めました。

毎日の健康チェックとして、1日3回（起床時、入浴前、就寝前）の検温。体調変化の早期発見と情報の共有に務め予防対策につなげました。

加齢に伴う全身の機能低下や生活意欲、気力の低下（減退）から生じる健康変化への対応は、「若い」をしっかりと受け止めなければなりません。利用者家族のみなさんと一緒に丁寧に向き合い、穏やかに過ごせる時間を大切にしています。

### 3、医療・受診状況

〈通院状況〉

受診科	もみじ		あざみ	
	実人数	受診回数	実人数	受診回数
内科	36	291	22	143
外科	9	31	4	9
整形外科	9	91	13	73
婦人科	1	1	1	1
泌尿器科	9	82	0	0
皮膚科	8	43	11	64
眼科	12	20	4	9
精神科（神経内科）	0	0	0	0
歯科	17	74	11	25
耳鼻科	3	13	10	55

〈定期健診等〉

4月15日	結核検診
7月14.15日	内科検診
7月14.15日	腹部エコー
8月5日	歯科検診
11月13日	インフルエンザ予防接種
1月18.19日	成人病検診

〈嘱託医契約〉 嘱託医を配置せず、無医師配置減算体制を届出。

〈入院の状況〉

もみじ：済生会滋賀県病院 31日間（大腿骨骨折 R3.4.15～5.15）

かとう乳腺クリニック 8日間（乳がん R3.6.29～7.6）

あざみ：済生会滋賀県病院 13日間（大腿骨骨折 R3.12.25～R4.1.6）

甲西リハビリ病院 82日間（上記術後リハビリ R4.1.6～3.28）

〈来診・往診の状況〉：

佐野医院（内科） もみじ：5名（13回）

阿星山診療所（精神科） もみじ：23名（延279回）

あざみ 15名（延180回）

〈訪問マッサージ〉 たかはし治療院

計3名（もみじ1名、あざみ2名）の利用者が、医師の意見書をもって身体機能の保持と低下の抑制を治療目標に、1～3回/週の割合で、訪問マッサージを受けています。

#### 4、主な行事・活動

4/1 着任式、/5 新年度会議、/6 始業式、/15 結核検診、食堂喫茶、/20 社会科学習会

5/1 氏神祭（施設内）、/3 施設内限定作品販売会、/5 喜寿祝会（男子棟）、/22 食堂喫茶、  
/27 誕生会

6/10 薬剤散布（害虫駆除）、/19 食堂喫茶、/29 誕生会・お楽しみ会

7/4 傘寿祝会（女子棟）、/5 社会科学習会、/7 七夕・創立記念、/10.16 新型コロナウイルスワクチン接種①、/14.15 内科検診、/17 食堂喫茶、/21 深夜業務従事職員健診、/24 還暦祝会（男子棟）、/27 誕生会、/30 総合防災訓練

8/5 歯科検診、/7.13 新型コロナウイルスワクチン接種②、/11 古希・傘寿祝会（女子棟）、/16 社会過学習会、/20 誕生会、/21 食堂喫茶、/26 地藏盆

9/1.2 全体モニタリング会議①、/8 誕生会/17 追悼会、/18 食堂喫茶、/24 避難訓練、/28 社会科学習会

10/1 食堂喫茶、/8 社会科学習会、/16 食堂喫茶、/23 文化祭、/25 誕生会、/27 避難訓練

11/5 散歩・ゲーム大会、/9 社会科学習会、/11 誕生会、/13 インフルエンザ予防接種、/18 寮生旅行のつどい、/20 食堂喫茶、/22 「お楽しみ」お芝居上映会、/22 総合防災訓練、/27 古希・傘寿祝会（あざみ）

12/7 社会科学習会、/8 誕生会、/17 クリスマス会、/22 害虫駆除、/25 食堂喫茶、/28 カラオケ大会、/30、もちつき大会

1/1 新年の集い、/3 お茶会、/5 新春映画観賞会、/14 社会科学習会、/18.19 成人病健診、/22 誕生会

2/3 節分、/22 誕生会、/24 新型コロナウイルスワクチン接種③

3/18 誕生会、/28.30 送別会

#### 5、家族の会開催状況及び通信状況

もみじ・あざみ家族の会活動は、感染症拡大防止を最優先し、令和3年度も総会・役員会だけでなく個別の帰省や面会も一切行わず、必要事項は手紙、電話等による通信で連絡機能を保ちました。

令和3年4月 新型コロナ感染症ワクチン接種のお知らせと同意書の送付

令和4年2月 成人病検診結果報告

家庭通信 5月、7月、9月、11月、12月、3月

## 6、生産活動と利用者工賃（報償費）報告について

月額1,000円及び12月期に5,000円を本人支給金として、社会活動の奨励・促進を目的として全利用者に直接支給しました。

作業活動における報償費と収入のバランスがむつかしい状況が続いていますが、作業意欲と実績への評価として下記のとおり支給しました。

(月額・人数)

工賃内訳	金額	延べ人数		月平均人数	
		もみじ	あざみ	もみじ	あざみ
作業手当(3,000円)	3,000円	16	21	1.3	1.8
作業手当+皆勤手当(2,000円)	5,000円	523	234	43.6	19.5

月額平均工賃：作業参加日数を2区分（基準：3分の2以上で皆勤手当を支給）で評価し上記工賃を支給しました。

各施設の一人当たりの月額工賃は以下のとおりです。

もみじ 5,000円

あざみ 4,869円

## 7、生産活動（就労支援事業）会計報告

もみじ

科目	収入金額(円)	科目	支出金額(円)
生産活動収入		生産活動支出	
クリーニング事業収入	1,686,762	材料費	540,552
陶芸事業収入	30,350	労務費(報償費)	2,695,300
農芸事業収入	118,360	外注加工費	0
その他の事業収入	25,900	経費	1,396,231
生産活動収入合計	1,861,372	生産活動支出合計	4,632,083
生産活動収支差額	△2,770,711		

あざみ

科目	収入金額(円)	科目	支出金額(円)
生産活動収入		生産活動支出	
織物事業収入	383,350	材料費	129,674
		労務費(報償費)	1,241,700
		外注加工費	0
		経費	125,930
生産活動収入合計	383,350	生産活動支出合計	1,497,304
生産活動収支差額	△1,113,954		

## < グループホーム おおきな木 >

### 1、事業及び体制の概要

事業名 (グループホーム) 共同生活援助 (介護包括型)  
指定期間 令和2年4月1日から令和8年3月31日まで  
定員 6名  
職員配置 管理者 宮城てるみ  
サービス管理責任者 三上智美  
生活支援員 1名 (28時間/週 以上、兼務)  
世話人 3名 (4:1体制 60時間/週 以上)  
夜間支援体制 宿直対応 (現場スタッフ及び関係職員が対応)

### 2、利用者の異動

年度当初	定員 6名	現員 6名	
年度末日	定員 6名	現員 6名	異動者なし

### 3、新型コロナウイルス感染症への対応とホーム待機による精神的不安へのケア

通所利用する事業所やスタッフ関係者等にコロナ感染不安が生じると、安全が確認できるまで、ホーム待機になることが多い1年でした。見通しが持てず明日の予定が分からない日々を過ごすことは、大きなストレスとなりホーム内でのトラブルや所在不明になり捜索することも多くありました。精神面での丁寧なケアやホーム待機の日中の時間帯のスタッフ配置も大きな課題となりました。

### 4、主な活動及びホームの動き

- ・誕生会、忘年会
- ・土日の自由な買い物等の行動制限は継続中。日曜日に世話人が同行し、短時間で買い物が出来るようにサポート。
- ・余暇支援：畑・花壇等の作業、刺繍・編み物、小遣い帳記入と清算

### 5、日中活動、就労状況

6名の入居者のうち2名は(福祉的)雇用契約(1週3日及び1日)を整え就労。他法人作業所(週5日:1名、週3日:1名)、もみじ及びあざみ(生活介護)に計4名が利用しています。まだまだ仕事への意欲はありますが、年齢的な面からも日中活動の在り方についての検討も必要になってきました。

### 6、その他の事項

- ・スタッフ会議(業務確認、ケース検討会議等) 毎月1回
- ・6名のうち5名が65歳を超え、生活習慣病等への健康管理と医療受診を含めた対応の頻度が増加しています。

## < グループホーム 碧天（あおぞら） >

### 1、事業及び体制の概要

事業名 (グループホーム)共同生活援助 (介護包括型)  
指定期間 平成29年4月1日から令和5年3月31日まで  
定員 6名  
職員配置基準 管理者 川本幸一  
サービス管理責任者 三上智美  
生活支援員 1名(29時間/週以上)  
世話人 2名(4:1体制 38時間/週以上)  
夜間支援体制(宿直):法人関係職員が担当

### 2、利用者の異動

年度当初	定員6名	現員4名	
年度末日	定員6名	現員4名	異動者なし

### 3、新型コロナウイルス感染症陽性者の発生とホームの閉鎖につて

令和4年2月21日、入居者が通所利用する事業所(作業所)において複数の陽性者が確認され、感染拡大を防ぐため、他の入居者3名については自宅待機をお願いし、当該入居者1名をホームで健康観察を行っていたところ、最終確認のためPCR検査を受検したところ陽性であることが判明しました。2月25日にホーム関係者(職員スタッフ及び入居者)計11名のPCR検査を行ったところ、対応していたスタッフ1名も陽性であることが確認されました。感染拡大は防げたものの、スタッフ不在の事態となり約1か月間休止する事態となりました。

### 4、リスクの高いグループホームでの対応

- ・4名それぞれが異なる作業所に通所し、週末帰省を継続しています。関係各所で感染不安が多くあった1年でした。ホームの健康を守るためには、わずかな感染リスクについても把握し具体的に対応する必要があることを関係者するの全員の共通認識が必要です。関係各所にその旨依頼し、連携をとっていますが不安が解消されるものではありません。

### 5、主な活動及びホームの動き

誕生会、クリスマス会、節分などの季節行事。1月までは、月2回の土曜日開所を実施。

### 6、その他の事項

- ・スタッフ会議(業務確認とケース会議等) 毎月1回
- ・ご家族には、月1回の碧天通信や帰省時の連絡ノートで様子を伝えています。

